

かんさいだいがくふくしまがくしやきねんひ
関西大学福島学舎記念碑

(所在地) 福島七丁目一七 あみだ池筋東側

一九〇六年から一九二九年まで関西法律学校として福島の地で授業が行われた。後身の関西大学がそれを記念して建立した。

じよまく
除幕式は二〇一〇年十二月十七日。



関西大学福島学舎記念碑

関西大学の前身である関西法律学校は 明治19 (1886) 11月4日 大阪市西区京町堀の地に 大阪控訴院長児島惟謙 (のち大審院長) をはじめとする当時の司法官たちによって創立され 関西の財界を代表する土居通夫 藤田伝三郎 村山龍平 鴻池善右衛門らの支援を受け発展を遂げた

明治38 (1905) 年に「私立関西法律学校」から専門学校令による「私立関西大学」に名称を変更した本学は 大阪市の市電敷設計画により 江戸堀校舎からの移転を決め、明治39 (1906) 年12月17日 この地に福島校舎を建設した 千坪余の敷地に洋館風木造2階建ての校舎を建て さらに第2校舎を増築 図書館や武道館なども備え 多くの学徒がここで学んだ また 関西大学第一高等学校・中学校の前身である関西甲種商業学校も この福島学舎で誕生した

福島時代は22年余に及び 昭和4 (1929) 年9月16日 東海道本線拡幅工事のため 東淀川区北長柄の天六学舎に移転している

今日の関西大学の発展は 大学にかける当時の人びとのあつい思いがあつたればこそなしえたと言えよう

平成22 (2010) 年12月吉日 学校法人関西大学

<写真>
福島学舎

<写真>
第2校舎
関西大学

写真<写真>
図書館